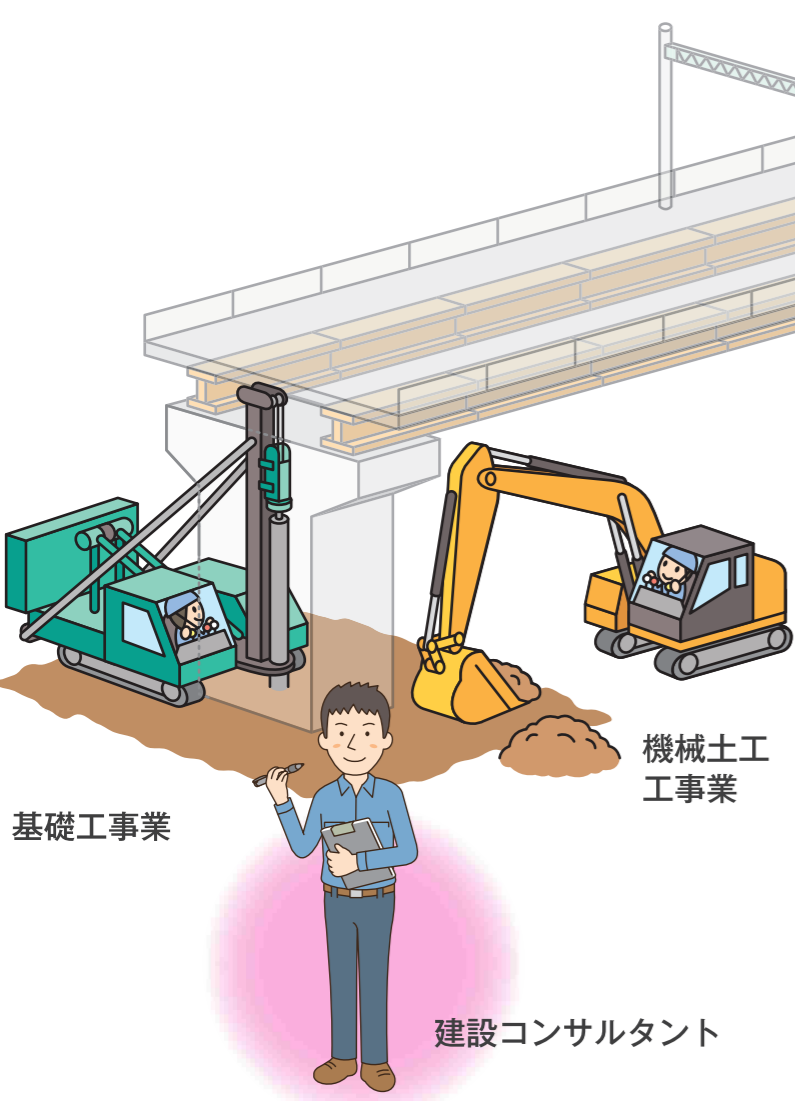


高架橋ができるまで

① 橋脚の基礎をつくる

高架橋は、並べて立てた橋脚の上に橋桁を順々に載せてつくります。最初に行うのは、橋脚を支える土台となる基礎をつくる作業。建設機械で地面をならし、地中に杭を打ち込みます。橋脚や橋桁は非常に重いので、それらを支える杭は地中深くまで埋め込まれます。



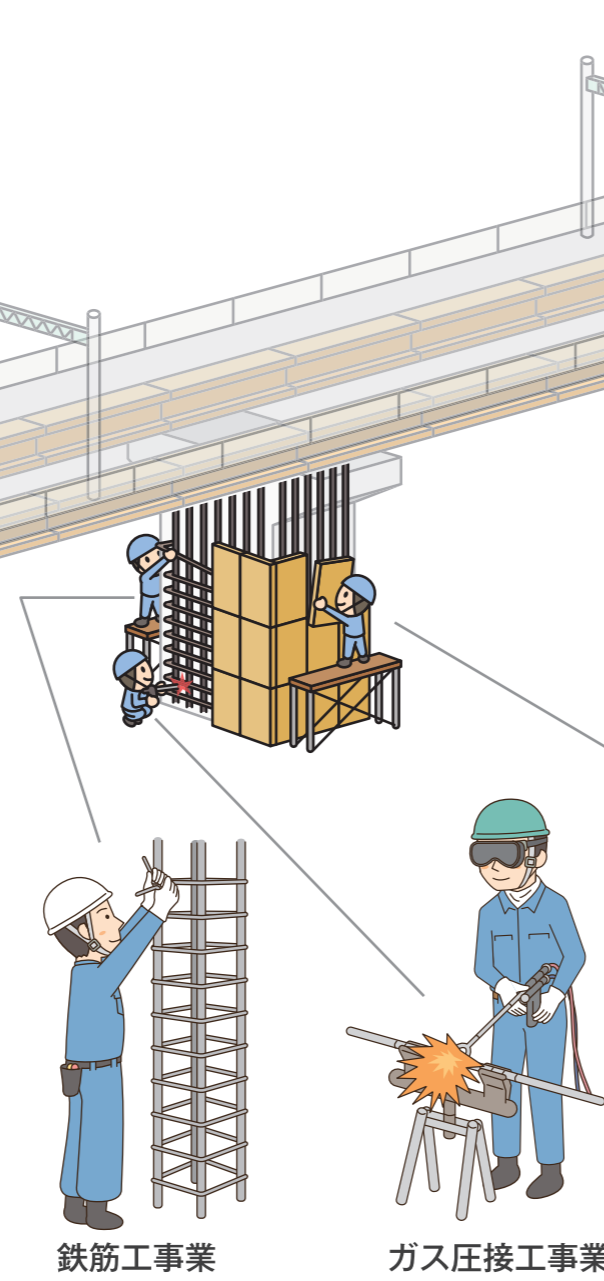
基礎工事業

機械土工事業

建設コンサルタント

② 橋脚を立てる

基礎の上に、コンクリートなどで橋脚をつくります。鉄筋コンクリート製の橋脚の場合、周囲に足場を組んで、鉄筋の組み立て→型枠（コンクリートの形をつくるためのパネル）の組み立て→コンクリートを流し込みます。型枠を取り外せば橋脚は完成です。

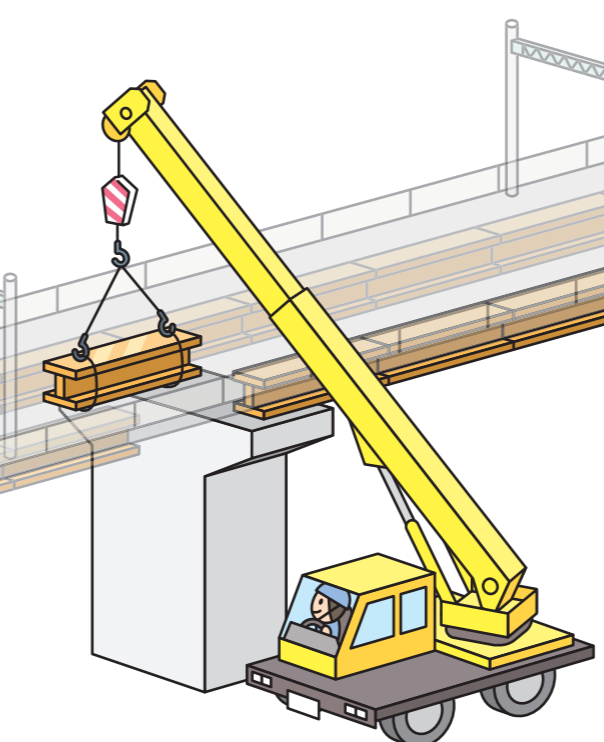


鉄筋工事業

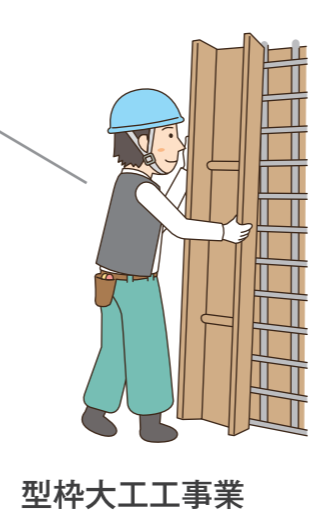
ガス圧接工事業

③ 橋桁を載せる

橋脚の上に、コンクリートや鋼材でできた橋桁を載せていきます。橋桁は、大型のクレーンを使って橋脚と橋脚との間に架け渡します。架け渡した橋桁を順に接続して1本につなげます。クレーンを使わずに、橋脚の上から橋桁を張り出しながら延ばしていく方法もあります。



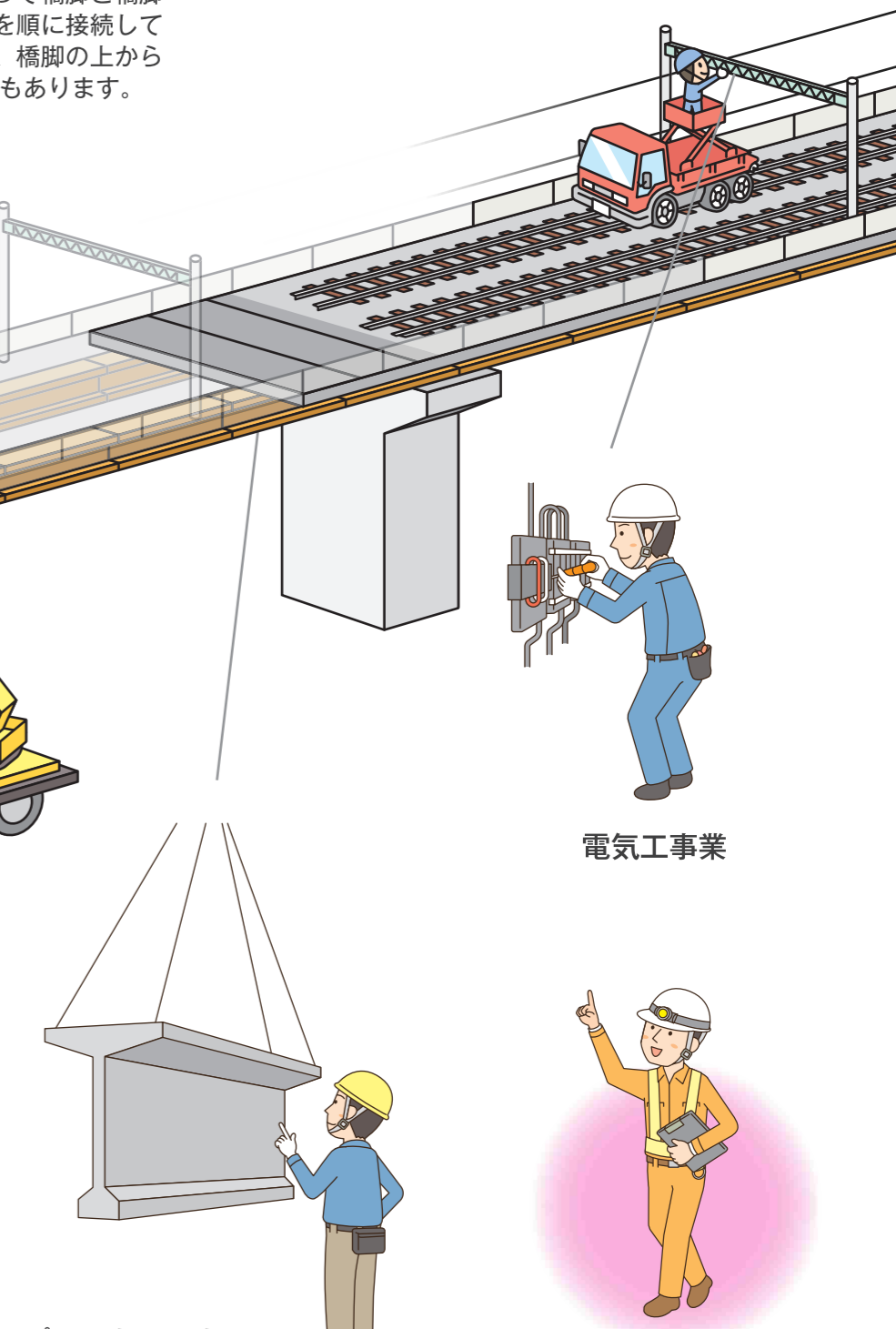
建設揚重業



型枠大工工事業

④ 床版を架け、設備をつくる

橋桁の上に、橋の「床」となる床版を設置します。コンクリート製の床版の場合、鉄筋・型枠を組み立ててコンクリートを流し込んだり、パネル状のコンクリートを並べていく方法などもあります。鉄道橋では、最後に軌道と架線を設置します。



電気工事業

プレストレスト
コンクリート工事業

土木工事業
(現場監督など)